

「オール大分女性医師復帰支援への取組と必要性について」

大分大学 学長特命補佐（ダイバーシティ担当）
医学部医学生物学 教授
女性医療人キャリア支援センター センター長
松浦 恵子

【抄録】

大分大学は2010年（平成22年）に男女共同参画推進本部ができ、附属病院に2014年（平成26年）に女性医療人キャリア支援センターが設立されてから、実質的な支援が開始されることになった。

今回、（1）大学での活動、医師会との連携、県全体への波及を目指した取り組みを紹介する。

（2）医学部では1年生での男女共同参画講義、4年生でのキャリア教育の日、5年生での女子学生と女性医師との交流会、女性医師医同士の交流会、そして男性医療人によるパパの会などがある。これらの教育や交流会の姿とともに、若い医療人や学生の意識、不安などアンケート等から見える化だいについて述べる。

以上より、今後私たちが取り生まなければならない女性・男性を含む医師のキャリア支援の重要性を再度認識したい。